

小平・東大和・武蔵村山地域 循環型社会形成推進地域計画

小平市

東大和市

武蔵村山市

小平・村山・大和衛生組合

平成26年12月18日

第1回変更 平成27年12月18日

第2回変更 平成28年12月21日

第3回変更 平成29年11月10日

第4回変更 令和元年12月26日

第5回変更 令和2年11月30日

第6回変更 令和3年12月9日

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

構成市町村名	小平市、東大和市及び武蔵村山市
面積	49.37 km ²
人口	343,058 人（平成25年10月1日現在）

(内訳)

市町村名	小平市	東大和市	武蔵村山市
面積 (km ²)	20.46	13.54	15.37
人口 (人)	186,268	84,597	72,193

(2) 計画期間

本計画は平成27年4月1日から令和4年3月31日までの7年間を計画期間とする。

なお、事業の進捗状況や目標の達成状況、社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

本地域は東京都の多摩地域に位置し、東京都全域の約2.3%の面積を占める。本地域の北部には貯水を目的として建設された人工湖である多摩湖があり、3市にまたがって東西に青梅街道、新青梅街道が整備されている。また、鉄道は西武新宿線、西武拝島線等が整備されている。

本地域の一般廃棄物発生量については減少傾向にあるが、小平・村山・大和衛生組合（以下「組合」という。）が保有する粗大ごみ処理施設や、各市が保有または委託している資源化施設は老朽化や処理能力の不足等の問題を抱えている。

今後は、廃棄物のより一層の発生抑制及び再生利用の推進を図るとともに、循環型社会にふさわしい廃棄物リサイクル・処理システムの構築を図る。

(4) ごみ処理の広域化・施設の集約化の検討状況

本地域では、昭和40年2月に3市で組合を設立し、可燃ごみ、不燃ごみ及び粗大ごみの中間処理を共同で行い、集約的な施設整備を進めるとともに、多摩地域の25市1町で構成される東京たま広域資源循環組合において、最終処分の広域処理を行うとともに、平成18年7月には、焼却灰のエコセメント化施設を稼働させ、広域的な資源循環型の廃棄物処理に取り組んでいる。

また、本計画において、更なる循環型社会形成と温暖化対策を推進するため、資源化施設の整備による再資源化の推進と、高効率ごみ発電施設を備えたごみ焼却施設へ更新することにより、二酸化炭素排出量削減の推進を目指し、施設整備を進めている。

なお、本地域の具体的な「ごみ処理の広域化・施設の集約化」については、今後、東京都により当該計画が策定され次第、その計画に基づいて検討する。

2. 循環型社会形成推進のための現状と目標

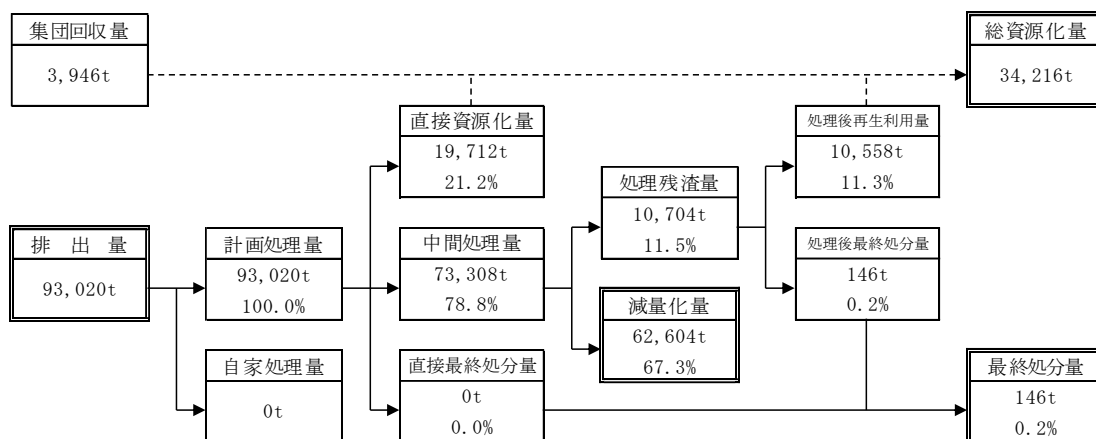
(1) 一般廃棄物処理の現状

平成25年度の一般廃棄物の排出、処理量の状況は図1のとおりである。

総排出量は、集団回収量も含め、96,966トンであり、再生利用される「総資源化量」は34,216トン、リサイクル率（＝（直接資源化量＋処理後再生利用量＋集団回収量）／（排出量＋集団回収量））は35.3%である。

中間処理による減量化量は62,604トンであり、集団回収量を除いた排出量のおおむね7割が減量化されている。また、集団回収量を除いた排出量の約0.2%に当たる146トンが埋め立てられている。

なお、中間処理量のうち、焼却量は72,023トンである。焼却施設では施設内に給湯を行っており、さらに、隣接する「こもれびの足湯」へ温水供給を行っている。



※ 端数処理の関係から、合計が一致しない箇所がある。

図1 一般廃棄物の処理状況フロー

(2) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含めた循環型社会の実現を目指し、表1のとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

表1 減量化、再生利用に関する現状と目標

指 標		現 状 (割合 ^{※1}) (平成25年度)	目 標 (割合 ^{※1}) (令和4年度)
排 出 量	事業系 総排出量	8,759 トン	8,536 トン (-2.5%)
	1事業所当たりの排出量 ^{※2}	0.85 トン/事務所	0.82 トン/事務所 (-3.5%)
	生活系 総排出量	84,261 トン	78,816 トン (-6.5%)
	1人当たりの排出量 ^{※3}	188 kg/人	171 kg/人 (-9.0%)
再 生 利 用 量	合計 事業系家庭系総排出量	93,020 トン	87,352 トン (-6.1%)
	直接資源化量	19,712 トン (21.2%)	19,602 トン (22.4%)
エ ネ ル ギ ー 回 収 量	総資源化量	34,216 トン (35.2%)	33,759 トン (36.9%)
	エネルギー回収量(年間の発電電力量)	—	— MWh (施設整備中)
最 終 処 分 量	エネルギー回収量(年間の熱利用量)	—	— GJ
	埋立最終処分量	146 トン (0.2%)	0 トン (0.0%)

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量) = { (事業系ごみの総排出量 - (事業系ごみの資源ごみ量)) / (事業所数)

0.85/事業所 = { (8,759 t - (0)) / 10,270(平成25年度) } 0.82/事業所 = { (8,536 t - (0)) / 10,425(令和4年度)

※3 (1人当たりの排出量) = { (生活系ごみの総排出量 - (生活系ごみの資源ごみ量)) / (人口)

188kg/人 = (84,261t - 19,712t) / 343,058人 171kg/人 = (78,816t - 19,602t) / 346,393人

《指標の定義》

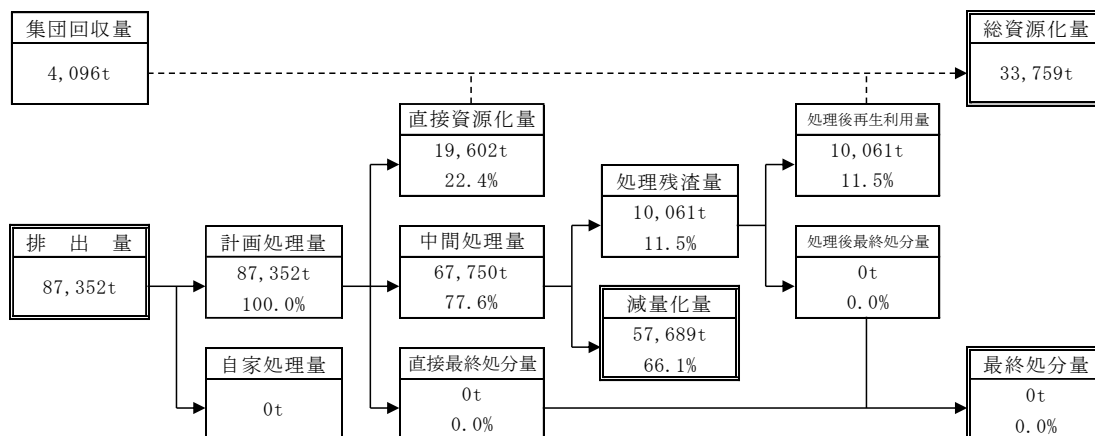
排 出 量：事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量(集団回収されたごみを除く。)[単位:トン]

再 生 利 用 量：集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和[単位:トン]

エ ネ ル ギ ー 回 収 量：エネルギー回収施設において発電された年間の発電電力量[単位:MWh]及び熱利用量[単位:GJ]

減 量 化 量：中間処理量と処理後の残さ量の差[単位:トン]

最 終 処 分 量：埋立処分された量[単位:トン]



※ 端数処理の関係から、合計が一致しない箇所がある。

図2 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー

3. 施策の内容

(1) 発生抑制、再使用の推進

ア. 生活系ごみ有料化

現在、事業系ごみについては、3市いずれも、指定袋による課金または収集運搬許可業者が処理手数料を徴収する方法を採用している。

生活系ごみの有料化については、平成26年10月1日より東大和市、平成31年4月1日より小平市で指定収集袋制が実施され、武蔵村山市においては令和4年度を目途にその実施の準備を進めている。

イ. 生ごみの減量

小平市では、未利用食品の削減、生ごみの水切り、食物資源（生ごみ）循環事業による資源化等を図っている。東大和市では、未利用食品の削減、生ごみの水切り等により、市民に対して啓発を行っている。また、武蔵村山市では、食品ロス削減に向けた啓発、生ごみの水切り、生ごみ処理容器「ミニ・キエーロ」モニター事業等によるごみの減量化を図っている。

ウ. 環境教育、普及啓発、助成

小平市では、市民の学習や啓発活動を継続実施し、市民生活や事業活動の見直しを図っている。東大和市では、出前説明会を充実することとして、保育園で廃棄物の排出について周知するとともに、廃棄物広報紙により市民に対して啓発を行っている。また、武蔵村山市では、3R意識を向上させるための広報の充実、環境学習プログラムの提供、出前講座の実施等、普及啓発活動を図っている。

エ. マイバッグ運動・レジ袋対策

3市いずれも、市民に対しては、購入時に容器包装の少ない商品の選択やマイバッグ等の使用、事業所に対しては、簡易包装の推進やレジ袋の削減を呼び掛け、販売段階での廃棄物の発生抑制を図っている。

オ. ごみ分別の推進

3市いずれも、ごみ分別アプリや具体的なごみ分別方法を掲載した冊子、環境学習等により、ごみ分別と3Rの重要性について普及啓発活動を図っている。

また、今後、3市で資源化基準及び分別区分の統一を図っていく。

(2) 処理体制

ア. 生活系ごみの処理体制の現状と今後

分別区分及び処理方法については、表2のとおりである。

現在、3市の可燃ごみについては、組合が保有する焼却施設にて焼却処理しており、今後も現状の体制を継続する。しかし、施設の老朽化及び旧式化が進んでいるため、既存焼却施設の敷地内において、既存施設を解体し、新たに高効率ごみ発電施設を備えたごみ焼却施設を整備し、高効率なエネルギー回収(発電・熱利用)を行う。

なお、ごみ焼却施設の整備期間中(令和3年度～令和7年度)は、3市の可燃ごみの一部について、多摩地域ごみ処理広域支援体制実施協定に基づき、多摩地域の他の市町村等のごみ焼却施設で処理(広域支援)を行う。

3市の不燃及び粗大ごみについても組合が保有する粗大ごみ処理施設にて処理を行っており、今後も現状の体制を継続するが、施設の老朽化及び旧式化が進んでいるため、令和2年4月1日から新しく不燃・粗大ごみ処理施設を稼働させ、資源化を推進した上で、残さは適正処理を行っている。

可燃ごみ、不燃ごみ及び粗大ごみを除く一般廃棄物については3市それぞれが単独で処理を行っているが、令和元年5月1日から、容器包装プラスチック及びペットボトルについては組合の資源物中間処理施設にて処理を行い、小平市ではこれを機に、平成31年4月1日から容器包装プラスチックの全量資源化を実施している。

生活系ごみの戸別収集については、東大和市は平成26年8月1日から、小平市は平成31年4月1日から導入済みであり、武蔵村山市では、生活系ごみの有料化とともに導入する準備を進めている。武蔵村山市の生活系ごみ有料化を目的に3市地域内の資源化基準及び分別区分の統一を図る。

イ. 事業系ごみの処理体制の現状と今後

今後とも生活系ごみと同様の分別区分により、収集、運搬、処分を行う。

また、事業用大規模建築物(事業の用途に供する部分の延床面積が3,000㎡以上の建築物)の所有者に対しては、廃棄物管理責任者の選任及び、再利用に関する計画書の作成を義務付けている。

ウ. 一般廃棄物処理施設で併せて処理する産業廃棄物の現状と今後

現在、産業廃棄物の処理は行っていない。今後も現状の体制を継続する予定である。

エ. 今後の処理体制の要点

- ◇3市の生活系ごみ有料化を機に、3市地域内の資源化基準及び分別区分の統一を図る。
- ◇老朽化・旧式化した不燃・粗大ごみ処理施設を整備する。
- ◇既存焼却施設の敷地内に新たに高効率ごみ発電施設を備えたごみ焼却施設を整備し、高効率なエネルギー回収(発電、熱利用)を行う。

表2 小平・東大和・武蔵村山地域各市の生活系ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現状（平成25年度）													処理 実績 （t）	分別 区分 計別	
小平市				東大和市				武蔵村山市							
分別区分	処理方法	処理施設等		処理 実績 （t）	分別区分	処理方法	処理施設等		処理 実績 （t）	分別区分	処理方法	処理施設等			
		一次処理	二次処理				一次処理	二次処理				一次処理	二次処理		
燃えるごみ	焼却・エコ セメント化	小平・村山・大和 衛生組合 ごみ焼却施設	(焼却灰) 東京たまエコセメ ント化施設	29,545	可燃ごみ	焼却・エコ セメント化	小平・村山・大和 衛生組合 ごみ焼却施設	(焼却灰) 東京たまエコセメ ント化施設	14,348	燃やせるごみ	焼却・エコ セメント化	小平・村山・大和 衛生組合 ごみ焼却施設	(焼却灰) 東京たまエコセメ ント化施設	12,538	56,431
燃えないごみ	破碎・ 選別・ 埋立	小平・村山・大和 衛生組合 粗大ごみ処理施設	(破碎不燃) 東京たま広域資源 循環組合日の出町 二ツ塚廃棄物 広域処分場 (有価物) 売却	5,308	不燃ごみ	破碎・ 選別・ 埋立	小平・村山・大和 衛生組合 粗大ごみ処理施設	(破碎不燃) 東京たま広域資源 循環組合日の出町 二ツ塚廃棄物 広域処分場 (有価物) 売却	913	燃やせないごみ	破碎・選別 ・埋立	小平・村山・大和 衛生組合 粗大ごみ処理施設	(破碎不燃) 東京たま広域資源 循環組合日の出町 二ツ塚廃棄物 広域処分場 (有価物) 売却	1,219	7,440
粗大ごみ				1,061	粗大ごみ				238	粗大ごみ				253	1,552
缶類(アルミ缶、 スチール缶)	選別・圧縮 ・保管	小平市リサイクル センター	容器包装 リサイクル協会 へ引き渡し	507	缶類(アルミ缶、 スチール缶)	選別・圧縮 ・保管	東大和市暫定 リサイクル施設	売却	246	缶類(アルミ缶、 スチール缶)	選別・保管	武蔵村山市 資源リサイクル センター	売却等	298	1,051
ビン類(生びん)	選別・保管			53	ビン類(生びん)	選別・保管			57	ビン類(生びん、 カレット)				514	2,411
ビン類(カレット)	選別・保管			1,247	ビン類(カレット)	選別・保管			540	プラスチック容器				711	1,308
プラスチック容器	選別・圧縮 ・保管			519	プラスチック容器	委託			78	ペットボトル				211	1,038
ペットボトル	選別・圧縮 ・保管			577	ペットボトル	選別・圧縮 ・保管			250	ペットボトル					
白色トレイ	選別・保管			3	白色トレイ	選別・保管			2						5
紙バック	選別・保管	9	紙バック	選別・保管	10	紙バック	10	29							
布類	保管	796	布類	資源化	292	布類	351	1,439							
紙類	資源化	5,940	紙類	資源化	2,602	紙類	2,199	10,741							
金属類	資源化	83	金属類(鉄千地、 自転車)	選別・保管	96	金属類	21	200							
剪定枝	チップ化	52	剪定枝	チップ化	151	剪定枝	118	321							
優良粗大ごみ	修復	17	粗大ごみリサイクル 品	修復	1	鉄製粗大ごみ	86	104							
食物資源	資源化	73	生ごみ	資源化	0			73							
有害ごみ(電池、蛍光 管、水銀体温計等)	選別・保管	69	有害ごみ(電池、蛍光 管、水銀体温計等)	保管	14	有害ごみ(電池、蛍光 管、水銀体温計等)	29	112							
鍋・やかん	選別・保管	1						1							
陶磁器	資源化	3						3							
			不用食器	再使用	0			0							
小型家電	資源化	0	小型家電	資源化	2	小型家電	0	2							
各市別処理実績計(t)			45,863			19,840		18,558	84,261						



現状（令和4年度）

現状（令和4年度）														処理実績(t) (見込み)	処理実績(t) (見込み)	処理別区分 （見込み） 分別計別
小平市				東大和市				武蔵村山市								
分別区分	処理方法	処理施設等		処理実績(t) (見込み)	分別区分	処理方法	処理施設等		処理実績(t) (見込み)	分別区分	処理方法	処理施設等				
		一次処理	二次処理				一次処理	二次処理				一次処理	二次処理			
燃えるごみ	焼却・エコセメント化	小平・村山・大和衛生組合ごみ焼却施設	(焼却灰)東京たまエコセメント化施設	26,734	可燃ごみ	焼却・エコセメント化	小平・村山・大和衛生組合ごみ焼却施設	(焼却灰)東京たまエコセメント化施設	12,309	燃やせるごみ	焼却・エコセメント化	小平・村山・大和衛生組合ごみ焼却施設	(焼却灰)東京たまエコセメント化施設	13,055	52,098	
燃えないごみ	破碎・選別・資源化	小平・村山・大和衛生組合不燃・粗大ごみ処理施設	(破碎可燃)焼却 (破碎不燃)資源化 (有価物)売却	3,975	不燃ごみ	破碎・選別・資源化	小平・村山・大和衛生組合不燃・粗大ごみ処理施設	(破碎可燃)焼却 (破碎不燃)資源化 (有価物)売却	700	燃やせないごみ	破碎・選別・資源化	小平・村山・大和衛生組合不燃・粗大ごみ処理施設	(破碎可燃)焼却 (破碎不燃)資源化 (有価物)売却	1,222	5,897	
粗大ごみ				896	粗大ごみ				143	粗大ごみ				278	1,317	
缶類(アルミ缶、スチール缶)	選別・圧縮・保管	小平市リサイクルセンター	売却	476	缶類(アルミ缶、スチール缶)	資源化	売却		203	缶類(アルミ缶、スチール缶)	資源化	武蔵村山資源リサイクルセンター	売却等	267	946	
ビン類(生びん)	選別・保管			1,221	ビン類(生びん)		委託		49	ビン類(生びん、カレット)				476	2,208	
ビン類(カレット)	選別・保管	小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設	容器包装リサイクル協会へ引き渡し	2,078	プラスチック容器	選別・圧縮・保管	小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設	容器包装リサイクル協会へ引き渡し	862	プラスチック容器	選別・圧縮・保管	小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設	容器包装リサイクル協会へ引き渡し	745	3,685	
プラスチック容器	選別・圧縮・保管			412	ペットボトル				280	ペットボトル				223	915	
ペットボトル	選別・圧縮・保管			2											2	
白色トレイ	選別・保管			8	紙パック				7	紙パック				10	25	
紙パック	選別・保管	小平市リサイクルセンター	売却	747	布類	資源化	売却等		215	布類	資源化	売却等		352	1,314	
布類(わた含む)	保管			5,571	紙類				1,918	紙類				2,208	9,697	
紙類	資源化			委託												
金属類	資源化	委託		78	金属類(鉄千地、自転車)	選別・保管	東大和市資源物等選別作業倉庫	売却	119	金属類	武蔵村山資源リサイクルセンター	売却	24	221		
剪定枝	チップ化	小平市リサイクルセンター	委託	49	剪定枝	チップ化	再使用			剪定枝	チップ化	委託		86	135	
優良粗大ごみ	修復		再使用	16						鉄製粗大ごみ	資源化	委託	売却	62	78	
食物資源	資源化	委託		68	生ごみ	資源化	ストックヤード		1						69	
有害ごみ(電池、蛍光管、水銀体温計等)	選別・保管	小平市リサイクルセンター	委託	65	有害ごみ(電池、蛍光管、水銀体温計等)	保管	東大和市資源物等選別作業倉庫	委託	21	有害ごみ(電池、蛍光管、水銀体温計等)	選別・保管	武蔵村山資源リサイクルセンター	委託	29	115	
鍋・やかん	資源化		売却	25											25	
陶磁器		委託		6	陶磁器	資源化	委託								6	
スプレー缶・ガスカートリッジ缶	選別・保管	小平市リサイクルセンター	委託	36	スプレー缶						16					
ライター					2											2
小型家電	資源化	委託		6	小型家電	資源化	売却等		3	小型家電	資源化	売却等		0	9	
										再使用資源物	再使用			0	0	
各市別処理実績計(t)(見込み)				42,471					17,308					19,037	78,816	

(3) 処理施設等の整備

上記(2)の分別区分及び処理体制で処理を行うため、表3のとおり必要な施設整備を行う。

表3 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	容器包装リサイクル推進施設	(仮称) 3市共同資源物処理施設整備事業	約23t/日	東京都東大和市桜が丘2丁目122番地の2	H28～H31
2	マテリアルリサイクル推進施設	(仮称) 不燃・粗大ごみ処理施設整備事業	約28t/日	東京都小平市中島町2番2号	H29～(R9)
3	容器包装リサイクル推進施設	小平市リサイクルセンター施設整備事業	約12.6t/日	東京都小平市小川東町5丁目19番10号	H29～H30
4	エネルギー回収型廃棄物処理施設	(仮称) 新ごみ焼却施設整備事業	約236t/日	東京都小平市中島町2番1号	R2～(R9)

(整備理由)

事業番号1 既存施設の老朽化、施設の集約による処理の効率化

事業番号2 既存粗大ごみ処理施設の老朽化・旧式化、資源選別効率の向上

事業番号3 既存施設の老朽化

事業番号4 既存焼却施設の老朽化・旧式化、エネルギーの高効率回収・有効利用の促進

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3)の施設整備に先立ち、表4のとおり計画支援事業を行う。

表4 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
31	(仮称) 3市共同資源物処理施設整備(事業番号1)に係る実施計画	実施計画、測量、地質調査、地歴調査、土壌調査	H27
	(仮称) 3市共同資源物処理施設整備(事業番号1)に係る生活環境影響調査事業	生活環境影響調査	H27～H28
	発注仕様書作成事業	発注仕様書	H27～H28
32	(仮称) 不燃・粗大ごみ処理施設整備(事業番号2)に係る基本計画	基本計画、測量、地質調査、土壌調査	H27～H28
	(仮称) 不燃・粗大ごみ処理施設整備(事業番号2)に係る生活環境影響調査事業	生活環境影響調査	H28～H29
	発注仕様書作成事業	発注仕様書	H28～H29
33	小平市リサイクルセンター施設整備(事業番号3)に係る基本計画	基本計画	H27
	小平市リサイクルセンター施設整備(事業番号3)に係る測量、土壌調査	測量、地質調査、地歴調査、土壌調査	H28
	小平市リサイクルセンター施設整備(事業番号3)に係る生活環境影響調査事業	生活環境影響調査	H28
	発注仕様書作成事業	発注仕様書	H28～H29
34	(仮称) 新ごみ焼却施設整備(事業番号4)に係る基本計画	基本計画	H28～H29
	(仮称) 新ごみ焼却施設整備(事業番号4)に係るPFI導入可能性調査	PFI導入可能性調査	H29
	(仮称) 新ごみ焼却施設整備(事業番号4)に係る焼却施設建設工事発注仕様書作成(解体撤去工事分含む)	焼却施設建設工事発注仕様書作成	H30～H31
	(仮称) 新ごみ焼却施設整備(事業番号4)に係る環境影響調査	環境影響調査	H29～R3

(5) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

ア. 再生利用品の需要拡大事業

現在、焼却灰は東京たまエコセメント化施設にて全量エコセメント化を行っているが、本事業を安定的に実施するためにも、引き続き公共工事等へのエコセメント製品の利用促進を図る。

イ. 廃家電のリサイクルに関する普及啓発

廃家電のリサイクルについては、特定家庭用機器再商品化法に基づく、適切な回収、再商品化がなされるよう、関連団体や小売店などと協力して、普及啓発を行う。

ウ. 不法投棄対策

東京都では、広域的な連絡・監視を充実させるため、近隣の11県23市とともに「産業廃棄物不適正処理防止広域連絡協議会」（通称「産廃スクラム35」）を組織し、相互に情報交換や協力体制を確保している。産廃スクラム35では、取締り等の連携の一環として、産業廃棄物収集運搬車両の広域的な路上調査を行っている。

また、平成20年度より新たに不法投棄撲滅強化月間を定め、積極的な事業PR等を展開している。

一般廃棄物については、3市と組合が一体となり、分別収集の徹底にむけた普及啓発を進めるとともに不法投棄の防止を図る。

エ. 災害時の廃棄物処理に関する事項

災害時に発生する廃棄物の広域的処理体制の確保を図るため、地域内及び周辺地域との連携体制の構築に向け、検討する。

3市においては、小平市は平成30年3月、東大和市及び武蔵村山市は平成31年3月に災害廃棄物処理計画を策定した。

4. 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

小平・東大和・武蔵村山地域の3市及び組合は、毎年、計画の進捗状況を把握し、必要に応じて、東京都及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、状況の把握を行い、その結果を取りまとめ、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や目標の達成状況、社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて計画を見直すものとする。

循環型社会形成推進地域計画の添付書類一覧

- 添付資料 1 対象地域図
- 添付資料 2 目標の設定に関するグラフ
- 添付資料 3 分別区分説明資料

様式 1 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1

- 添付資料 4 指標と人口等の要因に関するトレンドグラフ
- 添付資料 5 地域内の施設の現況と予定（位置図）

様式 2 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2

様式 3 地域の循環型社会形成推進に向けた施策の一覧

その他参考資料

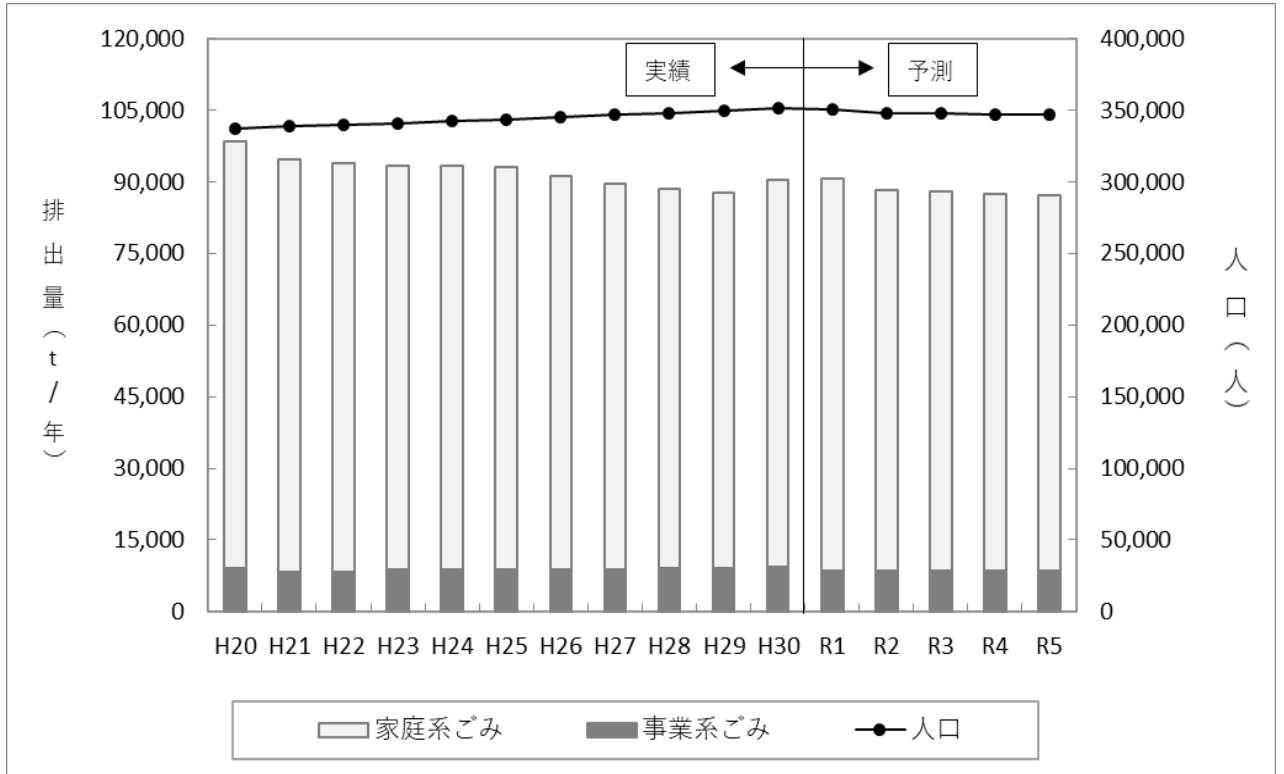
- 参考資料様式 1 施設概要（容器包装リサイクル推進施設系）
施設概要（マテリアルリサイクル推進施設系）
施設概要（容器包装リサイクル推進施設系）
- 参考資料様式 2 施設概要（エネルギー回収型廃棄物処理施設系）
- 参考資料様式 7 計画支援概要（容器包装リサイクル推進施設系）
計画支援概要（マテリアルリサイクル推進施設系）
計画支援概要（容器包装リサイクル推進施設系）
計画支援事業（エネルギー回収型廃棄物処理施設系）



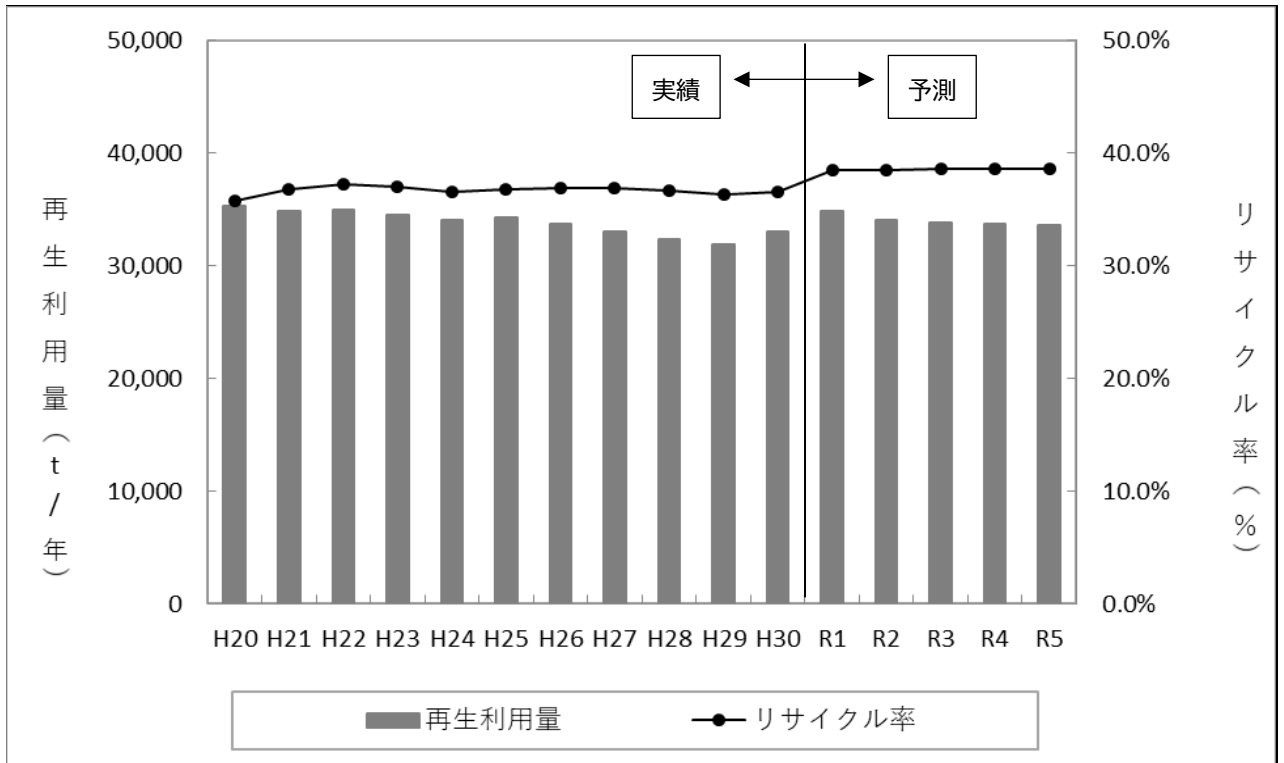
添付資料 2

目標の設定に関するグラフ

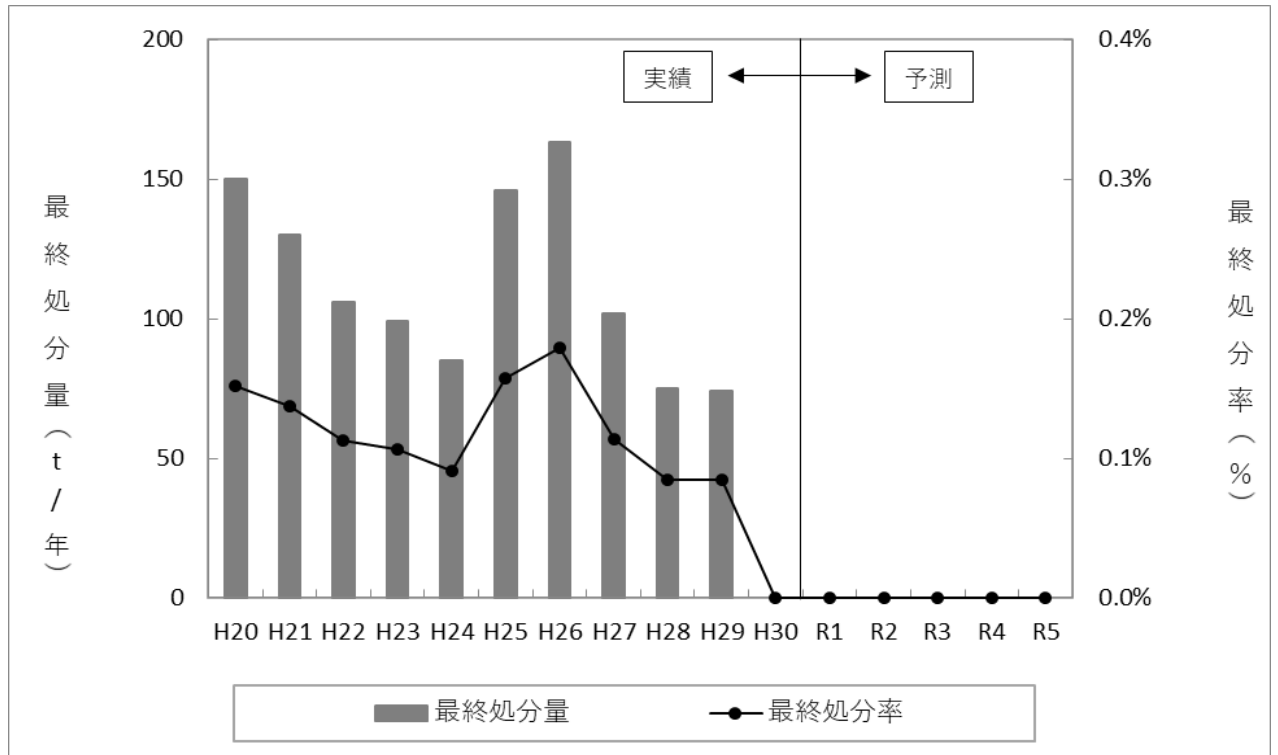
1. ごみ排出量の減量化目標



2. 再生利用の目標 (リサイクル率)



3. 最終処分目標



1. 小平市

(1) 燃やすごみ

生ごみ、紙おむつ、資源にならない可燃性資源・ペットボトル・容器包装プラスチック、15 cm未満のプラスチック製品、靴、草葉など

(2) 燃やさないごみ

陶磁器、ガラス、15 cm以上のプラスチック製品、金属類、ハンガー、傘、電話機など

(3) 粗大ごみなど

家具類、電化製品など（品目別に定める物。その他は概ね50 cmもしくは5 kg以上の物）

(4) 可燃性資源

新聞紙、雑誌（本）・雑がみ、段ボール、シュレッダーにかけた紙類、古布類（古着・古布、ぬいぐるみ、かばん、帽子、ネクタイ、ベルト）、ふとん（綿、羊毛、化繊、羽毛）、剪定枝

(5) 不燃性資源

ビン、カン、ペットボトル、容器包装プラスチック、スプレー缶・ガスカートリッジ缶、ライター、金属製のなべ・やかん・フライパン

(6) 紙パック

(7) 有害性資源

電池、蛍光管、水銀体温計

(8) 市で処理できないもの

ピアノ、耐火金庫、タイヤ、バッテリー、自動車部品、石、砂、土、コンクリート、ブロック、建築廃材、プロパンガスのボンベ、消火器、バイク（50cc を超えるもの）、殺虫剤、農薬、薬品、灯油など

2. 東大和市

(1) 可燃ごみ

- プラスチック製品で15cm未満のもの
- 汚れた容器包装プラスチック
- 皮製品（靴など）
- ゴム製品（長靴、ボール等）
- ビニール製品（クリーニングの袋、バッグ、靴等）
- 木くず、乾燥剤、保冷剤、湿布、使い捨てカイロ
- 食用油→紙や布にしみ込ませるか、凝固剤で固める

(2) 不燃ごみ

- ガラス製品、陶磁器、金属類
- 複合素材のもの（傘やフロッピーディスク等）
- 化粧品のびん
- プラスチック製品で、15cm以上で、指定収集袋に入る大きさのもの
- 刃物や割れた食器
- 小型家電（指定収集袋に入る大きさのもの）

(3) 粗大ごみ

(4) 容器包装プラスチック

(5) ペットボトル

(6) 缶・びん

(7) 紙類

(8) 布類

(9) スプレー缶類

(10) 有害ごみ（乾電池、ライター、蛍光管、水銀体温計等）

(11) 紙パック

(12) 使用済小型家電（回収ボックス）

(13) 市で処理できないもの

3. 武蔵村山市

(1) 燃やせるごみ

生ごみ、資源にならない紙類、汚れた布類、汚れが落とせない容器包装プラスチック、木製品、資源にならない選定枝、落ち葉・草、油（紙や布にしみ込ませるか凝固剤で固めたもの）

(2) 古紙

新聞、雑誌、段ボール、雑紙（ざつがみ）

(3) 布類

(4) 剪定枝

竹、笹、シュロ、いちょう、松、毛虫等害虫がついている枝以外のもの

(5) 燃やせないごみ

陶磁器、ガラス製品、刃物、製品プラスチック・家電製品で40cm以内のもの

(6) 容器包装プラスチック、ペットボトル

(7) ビン類（生きビンを含む）

(8) 有害物

電池・電球・蛍光管・水銀体温計

(9) ライター、スプレー缶

(10) 鞆、ベルト、ぬいぐるみ

(11) 缶、金属類

(12) 粗大ごみ

(13) 使用済小型電子機器（拠点回収・宅配回収）

(14) 市で処理できないもの

様式1 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表1
添付資料計画地域内の施設の状況（現況、予定）図

様式 1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (令和元年度)

1 地域の概要

(1)地域名	小平・東大和・武蔵村山地域	(2)地域内人口	343,058 人	(3)地域面積	49.37 km ²
(4)構成市町村等名	小平市、東大和市、武蔵村山市、小平・村山・大和衛生組合			(5)地域の要件	人口 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他
(6)構成市町村に一部事務組合等が 含まれる場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村：小平市、東大和市、武蔵村山市			設立年月日：昭和40年2月1日	

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位	年	過去の状況・現状（排出量に対する割合）										目 標
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和4年度
排 出 量	事業系 総排出量（トン）	8,319	8,207	8,934	8,819	8,759	8,783	8,912	8,974	9,139	9,242	8,536 (H25比 -2.6%)
	1事業所当たりの排出量（ト/事業所）	0.74	0.75	0.84	0.86	0.85	0.85	0.86	0.86	0.87	0.88	0.82
	生活系 総排出量（トン）	86,292	85,550	84,433	84,446	84,261	82,374	80,669	79,487	78,583	81,081	78,816 (H25比 -6.5%)
	1人当たりの排出量（kg/人）	196	193	191	191	188	182	177	174	172	176	171
合 計	事業系生活系排出量合計（トン）	94,611	93,757	93,367	93,265	93,020	91,157	89,581	88,461	87,722	90,323	87,352 (H25比 -6.1%)
再 生 利 用 量	直接資源化量（トン）	20,000 (21.1%)	20,066 (21.4%)	19,229 (20.6%)	19,025 (20.4%)	19,712 (21.2%)	19,409 (21.3%)	19,267 (21.5%)	18,808 (21.3%)	18,352 (20.9%)	19,179 (21.2%)	19,602 (22.4%)
	総資源化量（トン）	34,778 (36.8%)	34,921 (37.2%)	34,512 (37.0%)	34,074 (36.5%)	34,216 (36.8%)	33,654 (36.9%)	33,006 (36.8%)	32,368 (36.6%)	31,834 (36.3%)	33,002 (36.5%)	33,759 (38.6%)
エ ネ ル ギ ー 回 収 量	エネルギー回収量（年間の発電電力量 MWh）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	（施設整備中）
減 量 化 量	減量化量（中間処理前後の差 トン）	63,736 (67.4%)	62,794 (67.0%)	62,886 (67.4%)	63,136 (67.7%)	62,604 (67.3%)	61,058 (67.0%)	60,164 (67.2%)	59,831 (67.6%)	59,579 (67.6%)	60,905 (67.4%)	57,689 (66.0%)
最 終 処 分 量	埋立最終処分量（トン）	130 (0.1%)	106 (0.1%)	99 (0.1%)	85 (0.1%)	146 (0.2%)	163 (0.2%)	102 (0.1%)	75 (0.1%)	74 (0.1%)	0 (0%)	0 (0%)

※別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付した。（添付資料4）

3 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

(1) 現有施設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力	開始年月	廃止又は休止（予定）年月	解体（予定）年月	備考
容器包装リサイクル推進施設	小平市 リサイクルセンター	小平市	ビン：選別 カン：選別・圧縮・梱包 布類：保管 剪定枝：チップ化・保管 優良粗大ごみ：修復 鍋・やかん：保管	ビン・カン等選別： 19.4t/日	H6.2	H31.4更新	R2.3	
			ペットボトル・プラスチック 容器：選別・圧縮・梱包	ペットボトル等選別： 3.75t/日	H9.4	H31.4廃止		
マテリアルリサイクル推進施設	東大和市暫定リサイクル施設	東大和市	選別・圧縮・梱包	0.9t/h	H6.9	H29.6廃止	H29.6	
エネルギー回収型 廃棄物処理施設	小平・村山・ 大和衛生組合 ごみ焼却施設	小平・村山・ 大和衛生組合	全連続式	3号炉： 150t/日	S50.3	R7.9更新	R2.12	
				4・5号炉： 105t/日×2	S61.11	R7.10廃止	R7.10	
マテリアルリサイクル推進施設	小平・村山・大和衛生組合 粗大ごみ処理施設		破砕・選別	75t/日	S50.10	R2.4更新	R2.7	

※計画地域内の施設の状況（現況、予定）を地図上に示したものを添付した。（添付資料5）

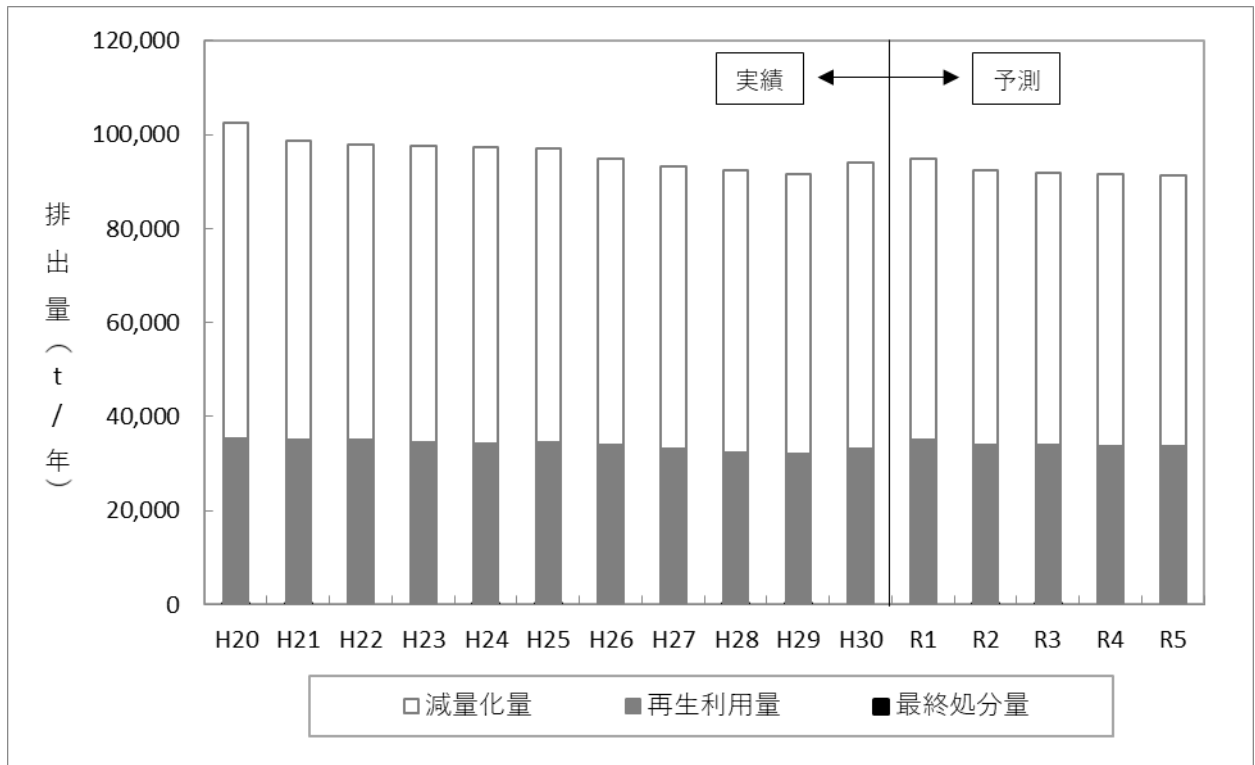
(2) 更新(改良)・新設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力	竣工予定年月日	更新(改良)・新設理由	焼却施設の解体の有無 及び解体施設の名称	備考
容器包装リサイクル推進施設	小平市 リサイクルセンター	小平市	ビン：選別 カン：選別・圧縮・梱包 布類：保管 剪定枝：チップ化・保管 優良粗大ごみ：修復 鍋・やかん：保管 紙バック：選別・保管 スプレー缶、ガスカートリッ ジ缶、ライター：選別・保管 ライター：選別・保管 有害性資源（電池、蛍光管、 水銀体温計）：選別・保管	ビン・カン等選別： 12.6t/日	H31.3	老朽化	—	
エネルギー回収型 廃棄物処理施設	小平・村山・大和衛生組合 (仮称)新ごみ焼却施設	小平・村山・ 大和衛生組合	全連続式	236t/日	R7.9	エネルギーの高効率回収 ・有効利用の促進	有（小平・村山・大和衛生 組合ごみ焼却施設 3号炉）	R7.10から稼働
マテリアルリサイクル推進施設	小平・村山・大和衛生組合 不燃・粗大ごみ処理施設		破砕・選別	28t/日	R2.3	環境啓発・リサイクルの促進	有（小平・村山・大和衛生組合 ごみ焼却施設 4・5号炉）	R2.4から稼働
容器包装リサイクル推進施設	小平・村山・大和衛生組合 資源物中間処理施設		選別・圧縮・梱包	23t/日	H31.4	広域化	—	

※計画地域内の施設の状況（現況、予定）を地図上に示したものを添付した。（添付資料5）

添付資料 4

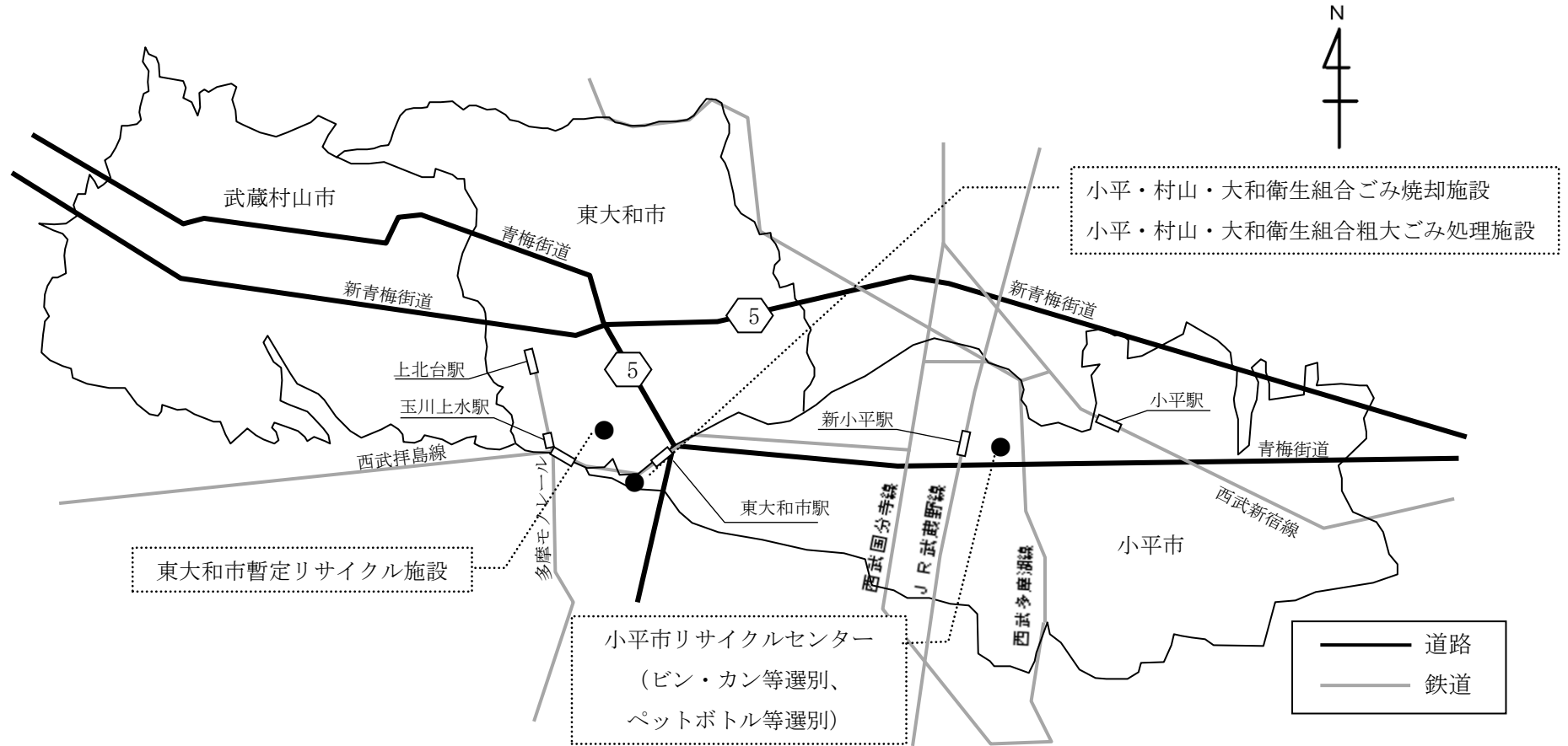
指標と人口等の要因に関するトレンドグラフ



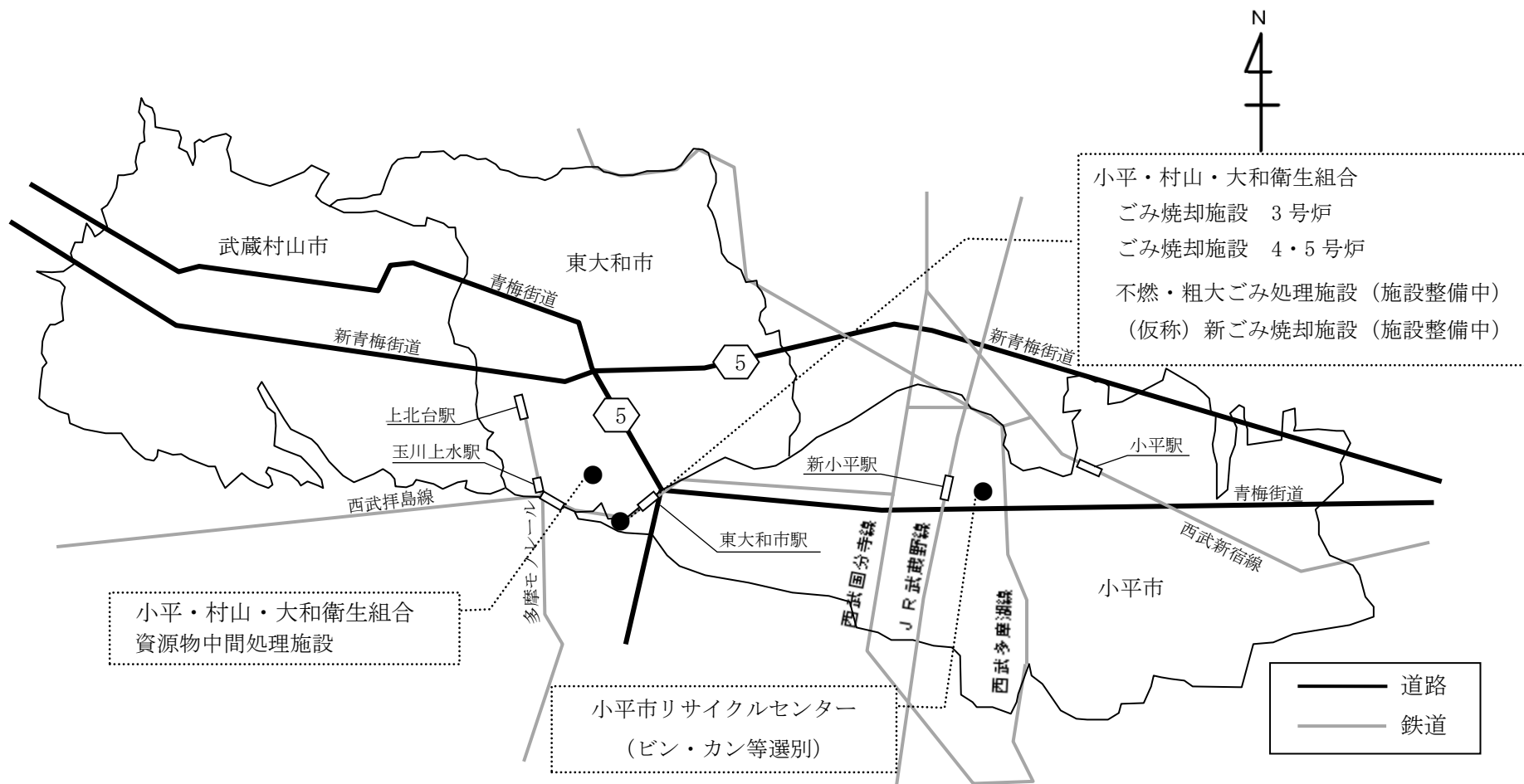
添付資料5

地域内の施設の現況と予定（位置図）

1. 現況図（平成25年度）



2. 予定図（令和4年度）



様式 2 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2 (令和3年度)

事業種別	事業番号	事業主体名称	規模			総事業費(千円)								交付対象事業費(千円)								備考			
			単位	開始	終了	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度以降	交付率	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度以降		
○マテリアルリサイクル等に関する事業						6,708,303 (8,789,791)	0	93,465	1,165,244	3,076,863	2,372,731	0	0	(2,081,488)	(8,257,430)	0	92,651	1,134,913	2,706,131	2,265,147	0	0	(2,058,588)		
資源物中間処理施設整備	1	小平・村山・大和衛生組合	約23	t/d	H28	H30	2,606,904	0	93,465	1,042,761	1,200,660	270,018	0	0	0	2,423,680	0	92,651	1,014,613	1,080,716	235,700	0	0	0	
不燃・粗大ごみ処理施設整備	2	小平・村山・大和衛生組合	約28	t/d	H29	R9	2,704,320 (4,785,808)	0	0	62,483	539,124	2,102,713	0	0	(2,081,488)	(4,632,420)	0	0	60,300	484,085	2,029,447	0	0	(2,058,588)	
小平市リサイクルセンター施設整備	3	小平市	約12.6	t/d	H29	H30	1,397,079	0	0	60,000	1,337,079	0	0	0	1,201,330	0	0	0	60,000	1,141,330	0	0	0	0	
○エネルギー回収等に関する事業							1,393,398 (28,647,251)	0	0	0	0	0	271,586	1,121,812	(27,253,853)	(23,085,976)	計	0	0	0	0	0	103,972	874,947	(22,107,057)
(仮称)新ごみ焼却施設整備	4	小平・村山・大和衛生組合	約236	t/d	R2	R9	1,393,398 (28,647,251)	0	0	0	0	0	271,586	1,121,812	(27,253,853)	(8,068,480)	1/2	0	0	0	0	0	0	0	(8,068,480)
															(15,017,496)	1/3	0	0	0	0	0	0	103,972	874,947	(14,038,577)
○施設整備に関する計画支援に関する事業							280,580	45,069	39,163	57,352	95,440	27,270	16,286	0	0	280,580	45,069	39,163	57,352	95,440	27,270	16,286	0	0	
資源物中間処理施設に関する計画支援	31	小平・村山・大和衛生組合			H27	H28	23,123	20,045	3,078	0	0	0	0	0	0	23,123	20,045	3,078	0	0	0	0	0	0	0
不燃・粗大ごみ処理施設に関する計画支援	32	小平・村山・大和衛生組合			H27	H29	30,597	18,544	4,813	7,240	0	0	0	0	0	30,597	18,544	4,813	7,240	0	0	0	0	0	0
小平市リサイクルセンターに関する計画支援	33	小平市			H27	H29	26,358	6,480	16,692	3,186	0	0	0	0	0	26,358	6,480	16,692	3,186	0	0	0	0	0	0
(仮称)新ごみ焼却施設に関する計画支援	34	小平・村山・大和衛生組合			H28	R2	200,502	0	14,580	46,926	95,440	27,270	16,286	0	0	200,502	0	14,580	46,926	95,440	27,270	16,286	0	0	
合計							8,382,281 (37,717,622)	45,069	132,628	1,222,596	3,172,303	2,400,001	287,872	1,121,812	(29,335,341)	(31,623,986)		45,069	131,814	1,192,265	2,801,571	2,292,417	120,258	874,947	(24,165,645)

注) 小平・村山・大和衛生組合構成市町村: 小平市、東大和市、武蔵村山市

※1 事業番号については、計画本文3(3)表4に示す事業番号及び様式3の施設整備に関する事業番号と一致させること。また、様式3に示す施策のうち関連するものがあれば、合わせて番号を記入すること。

※2 広域連合、一部事務組合等については、欄外に構成する市町村を注記すること。

※3 実施しない事業の欄は削除して構わない。

※4 同一施設の整備であっても、交付金を受ける事業主体ごとに記載する。

循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業番号	施策の名称等	施策の内容	実施主体	事業期間		交付金必要の要否	事業計画							備考		
					開始	終了		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度(令和元年)	令和2年度	令和3年度			
処理施設の整備に関するもの	1	容器包装リサイクル施設整備	・(仮称)3市共同資源物処理施設(容器包装リサイクル推進施設)整備	小平・村山・大和衛生組合	H28	H31	○				建設工事						関連事業31
	2	マテリアルリサイクル施設整備	・(仮称)不燃・粗大ごみ処理施設(マテリアルリサイクル推進施設)整備	小平・村山・大和衛生組合	H29	R9	○				建設工事						関連事業32
	3	容器包装リサイクル施設整備	・小平市リサイクルセンター(容器包装リサイクル推進施設)整備	小平市	H29	H30	○				建設工事						関連事業33
	4	エネルギー回収型廃棄物処理施設整備	・(仮称)新ごみ焼却施設(エネルギー回収型廃棄物処理施設)整備	小平・村山・大和衛生組合	R2	R9	○							建設工事			関連事業34
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1の計画支援	・(仮称)3市共同資源物処理施設(容器包装リサイクル推進施設)整備に係る計画支援	小平・村山・大和衛生組合	H27	H28	○	計画調査等									
	32	2の計画支援	・(仮称)不燃・粗大ごみ処理施設(マテリアルリサイクル推進施設)整備に係る計画支援	小平・村山・大和衛生組合	H27	H29	○	計画調査等									
	33	3の計画支援	・小平市リサイクルセンター(容器包装リサイクル推進施設)整備に係る計画支援	小平市	H27	H29	○	基本計画	測量・土壌調査								
	34	4の計画支援	・(仮称)新ごみ焼却施設(エネルギー回収型廃棄物処理施設)整備に係る計画支援	小平・村山・大和衛生組合	H28	R2	○	基本計画	焼却施設建設工事発注仕様書作成	環境影響調査							
その他	41	再生利用品の需要拡大事業	・公共事業等へのエコセメント利用促進を図る。	小平・東大和・武蔵村山地域各市	H27	R3											H18年度より実施
	42	廃家電のリサイクルに関する普及啓発	・家電リサイクル法に基づく処理の普及啓発。	小平・東大和・武蔵村山地域各市	H27	R3											H10年度より実施
	43	不法投棄対策	・分別区分の徹底とパトロール強化、街灯の設置。	小平・東大和・武蔵村山地域各市	H27	R3											H12年度より実施
	43	災害時の廃棄物処理に関する事項	災害廃棄物処理計画の策定	小平・東大和・武蔵村山地域各市	H29	H30					策定						H29年度小平市策定 H30年度東大和市、武蔵村山市策定

参考資料 様式 1 施設概要

施設概要（容器包装リサイクル推進施設系）

都道府県名 東京都

(1)事業主体名	小平・村山・大和衛生組合
(2)施設名称	資源物中間処理施設
(3)工期	平成 28 年度～平成 31 年度
(4)施設規模	処理能力 23t/日
(5)処理方式	選別・圧縮・梱包
(6)地域計画内の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の老朽化対策として、新施設を新設し適正処理を行う。 ・資源物を共同処理することで、資源化基準及び分別区分の統一を図り、効率的な収集を行う。
(7)廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>

「ストックヤード」を整備する場合

(8)ストック対象物	
------------	--

「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

(9)容器包装リサイクル推進施設の内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・処理能力 容器包装プラスチック：17t/日 ペットボトル：6t/日 ・処理方法 容器包装プラスチック：破袋、手選別、圧縮、梱包 ペットボトル：破袋、除袋、手選別、圧縮、梱包
---------------------	--

「灰溶融施設」を整備する場合

(10)スラグの利用計画	
--------------	--

(11)事業計画額	2,606,904 千円
-----------	--------------

施設概要（マテリアルリサイクル推進施設系）

都道府県名 東京都

(1)事業主体名	小平・村山・大和衛生組合
(2)施設名称	不燃・粗大ごみ処理施設
(3)工期	平成 29 年度～令和 9 年度（次期計画含む）
(4)施設規模	処理能力 28t/日
(5)処理方式	破碎・選別
(6)地域計画内の役割	・既存施設の老朽化及び旧式化対策として、現状のごみ量、ごみ質に見合った新たな施設を整備し適正処理を行う。
(7)廃焼却施設解体工事の有無	④ 無

「ストックヤード」を整備する場合

(8)ストック対象物	有害ごみ、災害ごみ
------------	-----------

「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

(9)容器包装リサイクル推進施設の内訳	
---------------------	--

「灰溶融施設」を整備する場合

(10)スラグの利用計画	
--------------	--

(11)事業計画額	計画期間内（令和元年度まで） 2,704,320 千円 総事業費 4,785,808 千円（解体費含む）
-----------	---

施設概要（容器包装リサイクル推進施設系）

都道府県名 東京都

(1)事業主体名	小平市
(2)施設名称	小平市リサイクルセンター
(3)工期	平成29年度～平成30年度
(4)施設規模	処理能力 12.6t/日
(5)処理方式	選別・圧縮・梱包
(6)地域計画内の役割	・既存施設の老朽化対策として、新たに施設を整備し適正処理を行う。
(7)廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>

「ストックヤード」を整備する場合

(8)ストック対象物	布・わた、なべ・やかん、優良粗大ごみ（中古不用品の再生）、紙パック、スプレー缶・ガスカートリッジ缶、ライター、有害性資源（蛍光灯、乾電池）、剪定枝（保管）
------------	---

「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

(9)容器包装リサイクル推進施設の内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・処理能力 カン：5.6t/日 ビン：12.6t/日 ・処理方法 カン：選別、圧縮、梱包 ビン：選別
---------------------	---

「灰溶融施設」を整備する場合

(10) スラッグの利用計画	
----------------	--

(11)事業計画額	1,397,079 千円
-----------	--------------

参考資料 様式 2 施設概要

施設概要（エネルギー回収型廃棄物処理施設系）

都道府県名 東京都

(1)事業主体名	小平・村山・大和衛生組合
(2)施設名称	(仮称) 新ごみ焼却施設
(3)工期	令和2年度～令和9年度（次期計画含む）
(4)施設規模	処理能力 236 t/日（118 t/日×2 炉）
(5)形式及び処理方式	全連続式（次期計画含む）
(6)余熱利用の計画	1. 発電の有無 <input checked="" type="checkbox"/> （発電効率 19%以上） ・ 無 2. 熱回収の有無 <input checked="" type="checkbox"/>
(7)地域計画内の役割	既存施設の老朽化及び旧式化対策として、熱回収及び高効率ごみ発電施設を備えた新たな施設を整備し適正処理を行う。（次期計画含む）
(8)廃焼却施設解体工事の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無
「ごみ燃料化施設」を整備する場合	
(9)燃料の利用計画	
「メタンガス化施設」を整備する場合	
(10)バイオガス熱利用率	
(11)バイオガスの利用計画	
(12)事業計画額	計画期間内（令和3年度まで） 978,919 千円 総事業費 28,647,251 千円（解体費含む）

参考資料 様式7 計画支援概要

計画支援概要（容器包装リサイクル推進施設系）

都道府県名 東京都

(1)事業主体名	小平・村山・大和衛生組合		
(2)事業目的	資源物中間処理施設整備のため		
(3)事業名称	(仮称) 3市共同資源物処理施設整備に係る実施計画	(仮称) 3市共同資源物処理施設整備に係る生活環境影響調査事業	発注仕様書作成事業
(4)事業期間	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 27 年度～ 平成 28 年度
(5)事業概要	当該施設の整備に伴い、実施計画の作成、測量、地質調査、土壌調査を実施する。	当該施設設置予定地の生活環境影響調査を実施する。	当該施設の整備に伴い、発注仕様書を作成する。

(6)事業計画額	19,224 千円	1,847 千円	2,052 千円
	計 23,123 千円		

計画支援概要（マテリアルリサイクル推進施設系）

都道府県名 東京都

(1)事業主体名	小平・村山・大和衛生組合		
(2)事業目的	不燃・粗大ごみ処理施設整備のため		
(3)事業名称	(仮称)不燃・粗大ごみ処理施設整備に係る基本計画	(仮称)不燃・粗大ごみ処理施設整備に係る生活環境影響調査事業	発注仕様書作成事業
(4)事業期間	平成 27 年度	平成 28 年度～ 平成 29 年度	平成 28 年度～ 平成 29 年度
(5)事業概要	当該施設の整備に伴い、基本計画の作成、測量、地質調査、土壌調査を実施する。	当該施設設置予定地の生活環境影響調査を実施する。	当該施設の整備に伴い、発注仕様書を作成する。

(6)事業計画額	18,544 千円	4,633 千円	7,420 千円
	計 30,597 千円		

計画支援概要（容器包装リサイクル推進施設系）

都道府県名 東京都

(1) 事業主体名	小平市			
(2) 事業目的	小平市リサイクルセンター施設整備のため			
(3) 事業名称	小平市リサイクルセンター整備に係る基本計画	小平市リサイクルセンター整備に係る実施計画	小平市リサイクルセンター整備に係る生活環境影響調査事業	発注仕様書作成事業
(4) 事業期間	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度	平成 28 年度 ～平成 29 年度
(5) 事業概要	①当該施設の整備の基本計画を作成する。	①当該施設の整備に伴い、実施計画の作成、測量、地質調査、地歴調査、土壌調査を実施する。	①当該施設設置予定地の生活環境影響調査を実施する。	①当該施設の整備に伴い、発注仕様書を作成する。
(6) 事業計画額	6,480 千円	7,063 千円	2,635 千円	10,180 千円
	計 26,358 千円			

計画支援概要（エネルギー回収型廃棄物処理施設系）

都道府県名 東京都

(1) 事業主体名	小平・村山・大和衛生組合			
(2) 事業目的	(仮称) 新ごみ焼却施設整備のため			
(3) 事業名称	(仮称) 新ごみ焼却施設整備に係る基本計画	(仮称) 新ごみ焼却施設整備に係る PFI 導入可能性調査	(仮称) 新ごみ焼却施設整備に係る焼却施設建設工事発注仕様書作成（解体撤去工事分も含む）	(仮称) 新ごみ焼却施設整備に係る環境影響調査
(4) 事業期間	平成 28～ 平成 29 年度	平成 29 年度	平成 30～ 平成 31 年度	平成 29～ 令和 3 年度
(5) 事業概要	当該施設の整備に伴い、基本計画の作成、地質調査、土壌調査を実施する。	当該施設整備に伴い、PFI 導入可能性調査を実施する。	当該施設整備に伴う焼却施設建設工事発注仕様書を作成する。	当該施設設置予定地の環境影響調査を実施する。
(6) 事業計画額	21,384 千円	2,916 千円	30,186 千円	149,866 千円
	計 204,352 千円			